

科目名（英文表記）	経営組織Ⅲ（戦略的人的資源管理） ( Business Organization Ⅲ )								
科目区分	基礎科目	単位数	2 単位						
担当教員名	西村 友幸	ナンバリング	MBA_C_B0 6231						
研究室番号	311	研究室電話番号	27-5327						
Eメール・アドレス	nishimura@res.otaru-uc.ac.jp								
<b>授業の内容及び方法：</b> 次頁以降に記載									
<p><b>授業の目的：</b></p> <p>伝統的に「人事労務管理」と呼ばれていた経営管理（マネジメント）職能は、1970 年代を通じて「人的資源管理」（HRM）へとシフトし、さらに 1980 年代半ばごろから HRM と経営戦略とを結びつけて議論する動きが活発化しました。こうして「戦略的人的資源管理」（Strategic Human Resource Management; SHRM（シャーム））なる関心領域が形成されました。SHRM には①組織の成果を向上させるために立案された経営戦略とリンクした HRM、②HRM 活動そのものの戦略性、の 2 つの意味が内包されています。つまり SHRM は、「経営戦略と整合的に体系化され、計画的に遂行される HRM」と定義されます。</p> <p>本授業は、講義とケーススタディの二本立てで、SHRM に関する基礎的および応用的知識を体系的に修得することを目的とします。HRM が組織行動（Organizational Behavior; OB）論と手を携えて発展してきた経緯も考えると、本授業の到達目標は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の経営組織Ⅰ（組織行動マネジメント）の知識を呼び起こし再度アクティブにする</li> <li>・SHRM に関する基礎的知識を身につける</li> <li>・これらの知識を応用して SHRM のケースを分析したり問題解決したりする能力を開発するとなります。</li> </ul>									
<p><b>使用教材：</b></p> <p>テキスト：松山一紀著『戦略的人的資源管理論』（白桃書房、2015 年） ※原則として、テキストは各自で入手すること</p> <p>参考資料：海老原嗣生・荻野進介著『人事の成り立ち―「誰もが階段を上れる社会」の希望と葛藤』（白桃書房、2018 年）</p> <p>その他、必要に応じて随時資料等を配布または紹介します。</p>									
<p><b>成績評価の方法：</b></p> <p>以下の評価項目に基づき評価します。</p> <table> <tr> <td>・ 授業への貢献度（質問、ディスカッション、その他授業への貢献）</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>・ ケース分析レポート（事前・事後）</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>・ 試験（最終試験）</td> <td>30%</td> </tr> </table> <p>評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出ること。</p>				・ 授業への貢献度（質問、ディスカッション、その他授業への貢献）	30%	・ ケース分析レポート（事前・事後）	40%	・ 試験（最終試験）	30%
・ 授業への貢献度（質問、ディスカッション、その他授業への貢献）	30%								
・ ケース分析レポート（事前・事後）	40%								
・ 試験（最終試験）	30%								
<p><b>履修上の注意事項：</b></p> <p>5 時限を超えて欠席した場合、自動的に不可となります。また、30分超の遅刻や退席があった場合、その時限は欠席扱いとなります。</p>									